

# 11月号

# School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



## Dream通信

2011. 11. No. 44

### 秋季SAJ (スクール・エイド・ジャパン) 教育支援視察ツアー ～里親様とのふれあい～



里親様と一緒に昼食

皆さんこんにちは。日本はそろそろ肌寒い頃でしょうか。カンボジアは雨季も終盤に入り、日中はカラカラとした暑い日差しに照らされています。そんな中、子どもたちは毎日元気に学校へ通い、園に帰ってから一所懸命に勉強に励んでいます。

さて、今回のDream通信では、秋季SAJ(スクール・エイド・ジャパン)教育支援視察ツアーにて、たくさんの支援者様が来園された際の様子と、10月1日に行われた入学式、始業式の様子、また9月下旬カンボジアのお盆での帰省の様子をお伝えします。

#### 里親様、支援者様ご来園

今回のツアーでは、10月18日、19日の2日間に渡り、たくさんの支援者様が来園されました。

1日目には、8名の里親様がいらしてくださいました。園内では、里親様と里子だけの時間を多く取り、たくさんお話しをしていただきました。毎月自分を支援してくれる里親様に、ささやかなお返しがしたい、と何日も前からプレゼントの準備をしている子どももいました。里親様と一緒に話し、遊び、食事を共にし、その姿は本物の親子そのものでした。

2日目には、子どもたちが習っている伝統楽器と伝統舞踊の披露も行いました。今年の2月から始めた伝統楽器。10月に発表、ということを知らせ、夏休みには毎日練習を行いました。ツアー前には、楽器と踊りを合わせて練習し、音が合わずに何度も途中で止められました。しかし、皆で一緒に支援者様を喜ばせたい、という思いのもと、頑張って練習した成果を披露することが出来ました。本番では、緊張しながらも落ち着いて演奏し、踊ることが出来ました。そして支援者様からたくさんの拍手をいただき、本当に嬉しそうでした。

お別れの時間には、来年もまた来てね！と口々に言いながら、ずっと手を振っていました。里親様、支援者様と直接会い、お話を聞くことで社会勉強にもなり、子どもたちの将来の夢も広がっていきます。子どもたちには、色々な方と積極的に関わり合い、もっともっとたくさんの世界を知り、視野を広げて欲しいと思います。次回のツアーでは、さらに大きく成長した子どもたちに、是非会いに来てください。



里親様と一緒に遊ぶ子ども



伝統舞踊と伝統楽器の披露



新しい制服で「行ってきます！」



新高校1年生の2人



忘れ物が無いか確認して出発



育ったお寺に帰省

## 10月新学期授業開始

10月1日、いよいよ新学期が始まりました。子どもたちは、新しい制服を着て、元気よく学校に向かいました。小中学校は合同で、入学式と始業式が行われました。小中学校とは離れた高校では、国道沿いの大きな校舎で、始業式と入学式が行なわれました。身体の大い生徒たちが目立つ中、緊張した面持ちで新しく高校に進学した2人、ソペアックとマッカーの姿がありました。1つ年上のスレイノイも一番前で先生の話を聞いていました。

住田事務局長が来園された際、昨年スレイノイが高校に進学した時と同様、2人にも新しい制服と靴、かばんがプレゼントされました。2人とも大変喜んで晴れ姿を皆に披露し、他の子どもたちは憧れの目で2人を見ていました。6時半、ピカピカの制服を着て学校に行きました。高校に進学してからは授業の内容も難しくなり、毎日夕方暗くなる頃に園に帰ってきます。そんな2人の姿が、これから高校に進学する子のお手本になれば、と思います。

中学生になると、小学生の倍以上の科目に増えます。毎日午前授業が終わると園に帰り、昼食を食べてまた午後学校へ行きます。中学に入ると、授業についていけない子は、副園長が夜に個別補習を行い、しっかりと復習・予習を行っています。補習の後にも自習時間を確保しています。子どもたちのサポートをすべく、職員も日々、奮闘しています。

## 帰省

9月24日から28日まで、カンボジアではお盆休みがありました。毎年4月の正月と9月のお盆には、長期の休みがあり、園の子どもたちは育ての親の家に帰省します。今回は雨量が例年よりも多かったため、カンボジアのいたるところで洪水が起きたり、道が冠水してしまったり、という状態でした。車が通れないような道があり、立ち往生してしまっても、子どもたちは元気にズボンを持ち上げてパシャパシャと道を歩いていきました。家に着くと、近所の人が笑顔で子どもを出迎えてくれました。ある子は体の不自由な祖母の家へ、ある子は親戚の叔母家族の家へ、子どもたちはそれぞれの育ての親の家へ帰り、5日間を過ごしました。

今回の帰省では、園を出てSAJFarmで働く2人も一緒に帰省しました。園を出てから初めての帰省だったので、家族に仕事の様子や環境の変化などを逐一報告したと思います。そして一緒に帰省した弟達も、大人になった兄を見て、自分の将来を考える良い機会になったと思います。それぞれの子どもが体も心も少しずつ成長し、少し大人になって園に帰ってきます。子どもたち全員がそれぞれ少しずつ成長し、この園を巣立っていく時が、とても楽しみです。